

1 森林情報処理調査(第9報)

予算区分： 県 単
担当科名： 育種科

研究期間： 平成6年～
担当者名： 矢田 豊
鈴木 修治

．目的

森林管理業務における IT を活用した調査・開発業務として、ホームページ整備、スギ等花粉飛散量予測調査、情報処理システムの評価・開発等を行う。

．ホームページ整備

林試研究職員の自己紹介ページである「スタッフ紹介ページ」を開設したほか、「石川の森データベース」、「フォレストサイエンス最前線」、「花菖蒲図鑑」等を更新した。また、掲載情報の利用基準を明文化した「著作権等について」を掲載し、利用への便宜向上を図った。

．スギ等花粉飛散量予測調査

総飛散量の予測と情報提供、日飛散量予測値の「スギ花粉予報カレンダー」配布、ホームページ情報提供およびメールサービス等を行ったほか、携帯電話対応ホームページによる情報提供とメールサービスを実施した。

．情報処理システム評価・開発

携帯型パーソナルコンピュータとそれに接続可能な GPS ユニット、そしてフリーの地理情報処理ソフトウェアを用い、森林計画図上で現在位置を把握できる車載用“森林計画図ナビゲーションシステム”を構築し、実際の調査業務での実用度評価を行った。その結果、今回使用した GPS ユニットでは平均的な2車線林道程度の開空度(40%前後)で測位成功率が80%程度になり、走行軌跡の記録が可能となった。

また、樹木健全度評価手法としての樹幹温度測定法について検討し、3樹種の基本特性の把握、評価用モデル関数の検討等を行った。

．今年度成果発表状況

1) 森林計画図ナビゲーションシステムの実用度評価 第51回日本林学会中部支部大会(口頭発表), 2002.10

2) 樹幹温度測定による樹木健全度評価手法の検討 ミズナラ・ヒノキアスナロ・スギの測定事例の比較 第7回樹木医学会大会(口頭発表), 2002.11